

平成24年1月27日 愛媛大学南加記念ホール

第2回 四国女性研究者フォーラムを開催

四国における女性研究者の育成を地域ぐるみで応援するために、愛媛大学主催、香川大学・徳島大学・鳴門教育大学・高知大学の共催で開催しました。四国にある国公立大学等の高等教育研究機関、企業、市民の方々213名にご参加いただきました。

フォーラムに先立ち、プレイベントとして、ポスター発表とランチ交流会が校友会館において開催され、ポスター発表は約30件、ランチ交流会には50人を超える参加がありました。



フォーラムは、午後1時半から南加記念ホールで始まり、柳澤康信学長は、開会挨拶の中で、フォーラムを持ち回りで開催することとなった経緯について説明し、本学では女性研究者が活躍できるように育児等の環境整備を着々と進めていることを述べました。



続いて、前愛媛県知事の加戸守行氏による来賓挨拶では、絶妙な語り口で心温まるご祝詞をいただき、会場は一気に和やかな雰囲気になりました。

基調講演は、文部科学省高等教育局長の板東久美子氏より、「女性研究者の活躍に向けて」と題して、男女共同参画の理念と必要性、我が国の不十分な男女共同参画の現状と課題、女性研究者活躍のための施策について、データに基づいて説明がありました。講演の最後に板東局長から、「多様な人材育成や知的創造の中核であり、強い社会的使命を持ち、グローバルな視点が重要である大学こそ男女共同参画の推進を」という力強いメッセージがありました。

特別講演は、世界化学年・女性化学賞を受賞された相馬芳枝・神戸大学特別顧問より、「世界化学年と女性研究者」と題して講演をいただきました。プエルトリコでの授賞式の様子、研究者としての経験と女性研究者支援について力を込めてお話しいただき、参加者に感動を与えました。



次いでパネルディスカッションでは、「若手研究者が輝く大学とは」をテーマに、パネリストとして四国内国立5大学から30代の専門分野の異なる男女5人の若手研究者が登場しました。

最初にパネリスト5人が、研究者としてのこれまでの歩みと、これから研究者として成長していくために大学に対して望むことについて発表の後、研究、教育、育児などについてパネリストや会場の参加者と議論を交わしました。コメントーターの板東局長は、自らの子育ての経験についてありのまま話され、会場の共感を呼んでいました。時間の関係上、質疑応答の時間は十分取れませんでした。若手研究者が頑張っていることを十分アピールできたパネルディスカッションとなりました。



最後に、次回開催の徳島大学の本仲純子先生(AWAサポートセンター長)の挨拶の後、曲田清維副学長の閉会挨拶がありました。本フォーラムは、未来を担う若手研究者や学生を励ますことができたのみならず、参加者全員が明日へのパワーをもらったフォーラムとなりました。

平成24年3月1日 校友会館2階サロン

愛媛大学女性未来育成センター・社会連携推進機構ジョイントセミナー開催

「男女共同参画推進による地域活性化を目指して」をテーマに、愛媛大学女性未来育成センター・社会連携推進機構ジョイントセミナーを開催しました。



講演は、三重大学男女共同参画コーディネーター・客員教授の鈴山雅子先生より、「地域の活性化と男女共同参画の推進」と題してお話いただきました。鈴山先生の豊富な実践経験に裏打ちされたパワフルな講演は大変好評で、参加者との活発な質疑・討論があり、大学の男女共同参画への姿勢が地域の活性化につながることを、大学内で

地域を呼び込むだけでなく、大学から地域に向かう双方向の交流が大切であることが参加者に理解されました。これまで愛媛大学は、男女共同参画に関して、個々の教員レベルでは愛媛県や松山市などと協力してきましたが、これからは大学と地域自治体間での組織的な連携が重要であることが周知され、当センターが中心になって進めていく方向性が確認されました。

最後に閉会挨拶で、社会連携推進機構の土居修身副機構長は、男女共同参画推進への地域連携の重要性はよく理解できたので、これからは社会連携推進機構として全面的に協力したいと述べ、意義深いセミナーとなりました。



平成23年12月26日、27日、平成24年1月4日～6日 冬休み学童保育を行いました

愛媛大学職員会館1階にて教職員のお子さん(小学生)対象の冬休み学童保育が行われ、総勢8名のお子さんが参加されました。



平成24年3月26日～4月6日 春休み学童保育開始

今季は総勢14名のお子さんが参加し、お花見などの多彩なイベントも予定されています。

実施期間：平成24年3月26日～4月6日
午前8時～午後6時※ただし土・日曜を除く
場所：職員会館1階 和室
<予定している行事・遊び>

- 行事：お花見、読み聞かせ、手作りおやつなど
 - 外遊び：ボール遊び、なわとび、おにごっこ、バドミントンなど
 - 室内遊び：ぬり絵、ブロック、パズル、オセロ、囲碁、将棋、けん玉、レクリエーションゲーム、折り紙工作、読書など
- ※保育内容は、天候や行事スタッフの都合等により、変更する場合があります。

今後も長期休暇中の学童保育を予定しています。
決定次第、HPなどでお知らせしていきます。

平成23年度 後期研究支援員制度 13人に研究支援員配置

研究支援員制度は、出産・育児等で研究時間を十分に確保する事が困難な研究者の研究活動を維持・促進することを目的として研究支援員を派遣する制度です。平成23年度後期は、13人の申請が採択され、研究支援員の配置が行われました。

平成24年度前期は3月1日現在11人の申請があり採択に向けて順次面接を行い、採択者に研究支援員を配置予定です。

	資 格
申請対象	1 本学に在職する女性研究者 2 配偶者が1である本学に在籍する男性研究者
申請条件	妊娠中で母子健康手帳取得者または、小学6年生までの子どもを持ち、出産・育児負担があること。 (産前・産後の特別休暇中、育児休業中などにより研究活動を中断している場合を除く。)

※研究者：愛媛大学に在籍する専任教員・特定教員および特定研究員(博士研究員)および学振特別研究員(PD・RPD)
※申請の際は、所属研究室などの教員などとも十分相談の上、部局長の了承を受けてください。

申請について：研究支援員を配置する期間は6ヵ月までとし、年2回の利用申請者の募集を行います。
※募集期間や詳細については女性未来育成センターのホームページ等で通知します。

研究支援員募集

出産・育児で研究時間の確保が難しい研究者を有償支援する学生を募集しています。

研究支援員となるには「研究支援員人材バンク」へ登録が必要です。

登録方法・詳細は、HP内「キャリア支援」→「研究支援員制度」をご覧ください。



メールマガジン配信

女性未来育成センターの取り組みなど様々な情報をお届けしています。
配信希望の方はこちらまでご連絡ください。
hime@stu.ehime-u.ac.jp